



19大月建環第13号
平成19年 5月 2日

国土交通省道路局長 殿

大月町長 柴岡 邦男
高橋多助
高橋多助
高橋多助
高橋多助
高橋多助
高橋多助
高橋多助
高橋多助
高橋多助

中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について(回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました、中期的な計画の作成にあたってのご意見について、別紙のとおり回答いたします。

意見書

○ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

四国の高速道路8の字ネットワークの早急な整備。

都市部においては、都市と都市を結ぶ高速道路や国道が数本確保されているが、地方では主要幹線道路を初め、道路整備が非常に遅れている。

高速道路の整備は、地方の人々にとっては、暮らしを支える上から重要な施策である。

都市と地方を高速道路で繋ぎ、それに取り合う主要道路の整備は時間が短縮されるだけでなく、人・物のネットワークがスムーズになり地域活性化の原動力となるものである。

又、高次医療施設までの時間の短縮や災害時における避難道として、緊急物資輸送の大事な幹線道路ともなるものであり、生命と財産を守る上からも非常に大切である。

一方、地方道の整備も生活する住民にとっては、日々の生活を守り利便性の向上を図る上からも大切な施策である。地方の道路整備を怠れば一層過疎化が進展し、一極集中型の都市形成を助長することに繋がる。

地方道においても、生活者の実態を十分把握して、主な幹線道を優先して整備する必要がある。

○ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

道路整備の必要性については、都市部と地方の意見には大きな違いがあると思われる。もう少し、地方の意見に耳を傾けて、『真に必要な道路』は何であるか、多くの意見を取り入れてほしい。また、全国画一的な道路整備ではなく、道路構造令などの見直しを常に行い、建設費を安くする工法や構造などを積極的に取り入れ、その地域に整合した道路基準や工法を取り入れた建設を進めてほしい。

○ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

高速道路やそれに連結する道路網の整備を進めることは、今後の南海・東南海地震に対する緊急時の対策としても大変重要な施策である。

公共交通機関が整備され、都市と都市を結ぶ道路網のネットワークの構築さ

れている都市部においては、考えられない事であるが、未だ地方においては生命線となる道路整備がなされていない状況である。

管理面においては、市町村の橋梁の補強整備・斜面の崩落等の災害防止等にも補助金制度の活用ができるよう要望する。

一方、地方道の維持管理については、地域の住民力を活用した施策も重要と思われる。